

事業メニュー 対照表

田名部まちなか地区都市再生整備計画等	官民連携まちづくり計画等 素案
事業内容	
<p>① 核店舗整備事業（民間）</p> <p>テナントの効果的な配分を踏まえた店舗づくりを行い、本町通りと駅前通りの交差する角地における、土地建物を有効利用</p>	<p>① 核店舗整備事業（田名部まちづくり㈱）</p> <p>本町通りと駅前通りの角地において、コミュニティ機能強化を図るため、交流施設を入居させた商店街の核となる建物の整備</p>
<p>② 既存大型店再整備事業（田名部まちづくり㈱）</p> <p>既存大型店のダウンサイジングを進め、地区の商業利便性施設としての持続</p>	<p>② 既存大型店再整備事業（田名部まちづくり㈱）</p> <p>地区の中心部に立地する既存大型店のダウンサイジングによる再生</p>
<p>③ ②と連動したバスターミナルの効果的な利用（田名部まちづくり㈱）</p> <p>バス交通の効果的な経営と地域の交通拠点の強化を図り、バスターミナル立地箇所を効果的に土地利用</p>	<p>③ ②と連動したバスターミナルの効果的な利用（田名部まちづくり㈱）</p> <p>既存大型店とバスターミナルとの一体化、跡地を歩行者専用通路として有効活用</p>
<p>④ 空き店舗対策プロジェクト（田名部まちづくり㈱）</p> <p>J Rバス転回場隣接地の空き店舗改修、コミュニティづくり市内誘致企業のアンテナショップ化により後方支援し、市内への企業誘致を円滑化させ、「しごと」を誘致し、まちを活性化</p>	<p>④ 空き店舗等活用事業（田名部まちづくり㈱）</p> <p>地区内に多数ある空き店舗、空き地により商店街の連続性が損なわれ、利便性低下を招くため、まちづくり会社が一括管理し、ニーズを踏まえたテナントを誘致</p>
<p>⑤</p>	<p>⑤ むつ北児童公園整備事業（一田小隣接）、一田小下ポケットパークの整備事業（市）</p> <p>地区の重要な景観要素として改善を行う。地域による維持管理・活用について検討を行う。</p>
<p>⑥ 歴史的資源を活用した魅力の向上、歩いて暮らせる環境づくり（市）</p> <p>田名部まちなか地区と小川町地区の結節地点にある代官山公園を整備し回遊性を持たせ、歩くことによる健康なまちづくりの推進。</p>	<p>⑥ 代官山公園整備事業（市）</p> <p>アクセスの不便により利用が少ない代官山公園を、地区の緑の拠点、歴史を伝える場の1つとして、アクセスの向上も踏まえた改善を行う。</p>
<p>⑦ 公営住宅整備事業（市）</p> <p>利便性施設の区内立地持続のため、街なか居住施設の整備により区内人口を増やし、利便性施設の利用促進。</p>	<p>⑦ まちなか公営住宅整備事業（市）</p> <p>居住人口を増やす事で、まちの活性化。歩いて暮らせる環境づくりを行うとともに、公営住宅の市街地への集約化の推進。</p>

事業メニュー 対照表

田名部まちなか地区都市再生整備計画等	官民連携まちづくり計画等 素案
<p>⑧ むつ来さまい館グレードアップ事業</p> <p>むつ来さまい館をジオパーク構想情報発信、創業支援施設へとリニューアル。ジオパークの情報発信の場としての活用や、創業支援による雇用の創出支援やSOHO (SmallOffice/HomeOffice) 化。</p>	<p>⑧</p>
<p>⑨</p>	<p>⑨ 昭和通り整備事業（市）</p> <p>円滑な歩行者ネットワークを確保するため、昭和の雰囲気を残す横迎町から代官山公園にかけての田名部神社裏通りを、(仮称) 昭和通りとして整備。</p>
<p>⑩ ③と連動し、バスターミナル敷地内に地区計画で歩行通路を公共化し、市が整備。</p>	<p>⑩ 歩行者専用道路整備事業（市）</p> <p>松木屋前から神社裏への歩行者通路の整備。</p>
<p>⑪</p>	<p>⑪ 都市計画道路整備事業（横迎町明神川線）</p> <p>来さまい館前から(仮称) 新開地通りへの街路整備。</p>
<p>⑫</p>	<p>⑫ 地区計画の決定</p> <p>(仮称) 本町通り沿いの既存建物の改築時に1階部分の後退(セットバック)を促し、歩道の確保を行い、障がい者等も含め誰もが通行できる歩行者空間作りを進める。</p>
<p>⑬</p>	<p>⑬ 案内サインの設置</p> <p>歩行者専用道路の整備と連動し、通りの名称や歴史由来など、地域資源を活かした、回遊性を高める案内サインを地区内各所に設置。通りの名称は再検討する。</p>
<p>官民連携まちづくり計画に記載された事業について、官民連携が見込まれるものについて、実施に向け検討していく。</p>	